



平成27年3月15日 第771号

一般財団法人日本遺族会 東京都千代田区千代田五丁目六番五号 電話 03-5261-2539

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

水落敏栄氏を擁立

次期参院選挙

日本遺族政治連盟 推薦候補者を決定

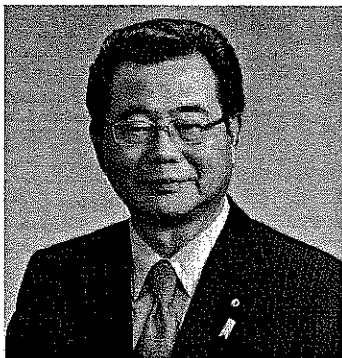
組織の総力結集し必勝期する

日本遺族政治連盟は二月二十五日に常任理事会、二十六日に都道府県本部長会議を開催し、平成二十八年夏に実施される参議院議員通常選挙における本連盟唯一の比例代表推薦候補者に、現参議院議員・水落敏栄(みずおとしえい)氏、日本遺族会顧問を満場一致で決定した。

日本遺族政治連盟は、平成二十六年十一月十二日に開催した常任理事会で、二十八年度の第二十四回参議院議員通常選挙における、比例代表推薦候補者の擁立について協議した。連盟会員の高齢化は否めず、選挙が戦えるかが議論の焦点となつたが、英霊顕彰及び戦没者遺族の処遇改善諸問題の解決のためには、本連盟の候補者を擁立すべきであり、各部都道府県連盟及び治連盟の意見を要約し、一致した。二月二十六日、都道府県本部長会議を開催し、兼任について決断した。

日本遺族政治連盟 参議院議員候補者

水落敏栄氏



昭和18年2月 新潟県十日町市生まれ。
昭和20年8月 父・春治、山形県神町海軍航空隊において爆撃により戦死。
昭和46年4月 財団法人日本遺族会事務局長に奉職。
平成14年2月 財団法人日本遺族会事務局長に就任。
平成16年7月 第20回参議院議員選挙初当選。
平成18年9月 文部科学大臣政務官。
平成21年10月 参議院文教科学委員長。
平成22年7月 第22回参議院議員選挙当選(現・期目)。
平成25年4月 自由民主党政戦没者遺族福祉に関する特命委員会議長。
平成25年10月 参議院院運営委員会委員長。
平成26年10月 参議院文教科学委員長(2度目)。
【その他の現職】 遺族協議会協議会事務局長、みんなで請願団体に参拝する国会議員の会事務局長、日本遺族会顧問、自由民主党組織運動本部長代理。

第6回理事會開催

27年度事業計画を承認

日本遺族会は、二月二十一日、都道府県本部長会議を開催し、平成二十七年六月、第六回理事會を靖国公園で開催した。会議は午後一時三十分、昨上和男事務局長の進行で開かれ、靖国公園の杜に眠る英霊に感謝の熱い思いを込めて、森田次夫副会長の挨拶に続き、板垣正水落敏栄 参議院議員、本会顧問が紹介された。

洗心懇談会 開催

靖国神社など十四団体で構成する洗心懇談会の定例会が二月十七日、日本遺族会の主催により、靖国公園三連の間に開催された。会合には、森田次夫副会長、昨上和男事務局長が出席した。

英霊に こたえる会 中條会長 逝去

昨年十一月二十四日、英霊にこたえる会、会長中條高徳氏が呼吸不全のため逝去された。享年八十七歳。通夜・告別式は近親者で行われ、喪主は長男、泰徳氏、中條氏は昭和二十七年朝日麦酒(現アサヒビール)に入社、営業本部長、副社長に就任された。

謹 哀悼

二月十七日逝去された。副会長 愛知県遺族連合会 会理事、愛知県遺族連合会 副会長 二月十七日逝去された。八十八歳。葬儀は南大板屋葬祭、常務ホールにて行われた。喪主は長男・誠氏。

新会長就任 和歌山県

和歌山県遺族連合会 森 善男氏 (二月十八日付)

春の足音を聞きながら本会主催の慰霊巡拝で33度のミヤンマーを訪れた。30日、日本料理店は130を超えたとか、白骨街道といわれたマンダレー街道に並行してベター山よりには高速道路ができ、ヤンゴン市内には車が増え渋滞が起きていた。直行便も運航し宮城県の巡拝団など数団体とも遭遇、日本人も多くあったと感した所である。本会巡拝は様々な立場の遺族が参加でき今回は遺児を始め甥、姪、弟等最高齢は90歳であった。まだまだ元気で、強行軍ではあったが皆で遺族の誠を捧げたいと涙を流して来た。この巡拝が孫、ひ孫につながるればと思つた所である。激戦地だったベリユー島に、日本兵の集団埋葬地があった事を示す複数の資料が米国の博物館に保管されている事が判明した。約一万人の犠牲の島であり、600人の遺骨がまだ未送還となつて居る。4月には同島に天皇、皇后両陛下が慰霊に訪れ供花される予定である。厚労省もすでに地図等の資料を入手して居る。今後場所を特定する調査に着手するところ。これに先立ち5月下旬にはパラオ側による洞窟の開鑿に立ち会い、壕内調査および遺骨収容作業を実施する事が決まった。短期間ではあるが今後の足がかりとなれば嬉しいものである。因に本会からは戦没者の孫を派遣する。今後これらの事業に孫、ひ孫の活躍を上期する所である。(A)

大東亜戦争 七十年展最終章

平成二十七年遊就館特別展

三月二十一日(土)〜十二月八日(火)

※休館日 六月二十四日〜二十六日

◆期間

◆会場

◆開館時間

◆拝観料

◆展示内容

◆お問い合わせ

◆展示内容の紹介

【樺太】乙女の像(北海道・樺内公園) 昭和20年8月20日、ソ連は不可侵条約を破り樺太の真岡に侵入した。真岡郵便電信局の9人の女子交換手は、わが身を顧みず交換台を護り通つていく決意をした。

亡き肉親の冥福祈る

ミャンマー戦跡慰霊巡拝

本会主催

二月二日から十一日までの十日間、日本遺族会主催のミャンマー戦跡慰霊巡拝団に、戦没者の弟、遺児、甥姪等十三人が参加し、ミャンマーの戦地各地を巡った。巡拝団は、積年の思いを胸にミャンマーの地に歩をし、緑の地で祭壇を設け、故郷から持参した懐かしい品々を供えて慰霊祭を執り行い、亡き肉親に涙ながらに語りかけ、英霊の安らかな冥福を祈った。

ミャンマー戦跡慰霊巡拝 靖国神社に昇殿参拝し、慰 日からの慰霊の旅に備えた。田(团长)・畔上和男本会専 霊の旅への出発を誓う。 四日、ヤンゴンから悉路務理事)の参加者は、二月 旅の安全を祈願した。翌三 でフーゴン作戦の激戦の地 二日、靖国神社内の靖国会 ゴンに到着した二行は、翌 ラワジ河を渡せる場所

最初の慰霊祭を執り行い、亡き肉親へ積年の思いを語りかけた。 五日にマンガレーに移動した二行は、六日にパスで

マンダレー街を南下し、イラワジ会戦戦跡の地であったタンユウ村の境内で肉親の冥福を祈った。その後、ミャンマーの仏教の聖地サガインヒルで、戦友等が建立した慰霊塔前で英霊に祈りを捧げた。 七日、ヤンゴンに戻り市内のサウエトバゴダ内の一角を借りて慰霊祭を行い、亡き肉親に思いを馳せた。 八日、パスで再びヤンゴンを出発しトングヘト向かい、クン河でマンダレー河河作戦中に戦没した父に語りかけ、九日にはベグ

慰霊祭を終え、ヤンゴンに戻った。同夜、在ミャンマー日本大使館から乗客を招いての懇親会が催され、参加者は各地の戦地を巡った旅の思い出を語り合った。 十日には、北オカラツパ日本人墓地にある「ビルマ平和記念碑」前において、在ミャンマー連邦共和国日本国大使館特命全權大使参列の下、英没者追悼式を挙行し、英霊に感謝と哀悼の誠を捧げた。そして、北オカラツパ第十四小学校を

訪問して持ち帰った学用品等を生徒たちに寄贈し、所事帰国の途をついた。 亡き肉親を思い、積年の思いを語りかける = 2月6日、タンユウ村にて

遺書

陸軍兵長 山下 光雄

まい日 元気で学校へ通って居ますか
学校では先生のおっしゃることをよく聞いてよく学び元気で遊びなさい
お家へかへつたら かならず其の日先生からおしえていただいたことをよく習っておきなさい
おばあさんやお母さんの言ひつかけをよく守りなさい
お父さんが居なくともよく勉強をすれば 中学校へ入れて下さいますから
そしてつばな日本人になりなさい
お父さんはお前と四日市の眼でわかれて りっぱな兵隊さんになつて居ます
じきに戦場へ出かけてアメリカやイギリスの兵隊をみんなツツケてやります
おとうさんが りっぱなてがを立てて金しくんしようもするものと 稼がよく
勉強して先生からほづびをもらひ校長になるのと きよそををしませう
からだを大せつにして よくべんきょうをしなさい
さよなら

父より
穆君へ
(原文のまま)
[平成二十七年三月靖国神社社頭掲示]
愛しきおとうさんへ



慰霊祭。全員でフーゴン河を渡る。2月4日、ミャンマーのイラワジ河を渡る。2月4日、ミャンマーのイラワジ河を渡る。2月4日、ミャンマーのイラワジ河を渡る。

九段短歌

選者 三井 勝生

鎮魂と思慕を詠みたるわが歌の百廿なりぬ南海の
父よ 千葉市 石橋 嘉子
はるみ沖船見送りて七十五年別れの笑顔も眼の前
に 船橋市 中村 政子
徴兵の無き世となりて七十年赤紙の父はいつか
ぞ 南相馬市 原 芳広
赤道を越えて来にけり慰霊碑に思は深し六十余年
経て 韋吉市 宣治 勝田
つ、じヶ崎信玄公の夢のあと遺児の肩組み団結誓ふ
甲府市 十屋 直雄
三十八で戦死せし父に孝後などきと思ふ孫と
はむる 足利市 西村三三代
若き日の写し絵の父七十五歳の続け護國に参る
名古屋市 武蔵 武子
戦死せし父の位牌を抱きしめわれは幼く喪主をつ

和館 特別企画展 写真展を開催

和館では、三月十一日から五月十日までの期間、「戦後70年 よみがえる日本の姿」オーストラリア戦争記念館所蔵写真展、と題した特別企画展を開催する。本展では、フーロログ「終戦そして降伏」(三月十九日までの期間)、「春らんまん」と題した写真展を開催する。

特別企画展では、オーストラリア戦争記念館から購入した英連邦軍兵士の戦影の中からは春を象徴する写真を選定し、「別れと出会いの季節」「芽吹への準備」「躍動の春」春満開のテーマに分けて、約四〇点を紹介する。

「開合せ先」特別企画展は和館学芸部まで ☎03・3222・2577
写真展は図書情報部まで ☎03・3222・2577

地方

各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次のとおり。
▼大分県 2月21日・22日 平成26年度安曇野影事業研修会(孫・曾孫の会)
22人
▼鳥取県 2月24日・25日 役員・職員合同研修会(45人)

物忘れが増えたら 要注意!!



上の写真の岩崎ミチさんは美年齢八十七歳だが、記憶力も確かで言葉も行動もハツラツとしている。そんな彼女の美年齢はなんと三十二歳といった、この秘訣はどこにあるのだろうか。

調べるみると、驚きな事実が分かった。人間の脳細胞は年齢とともに減少し、再生しない。と、百年にわたる信じられてきた結論が覆されたのだ。一九八八年、アメリカとスウェーデンの研究チームは、学習に関わる脳細胞が大人の脳内で新たに作られていることを確認。また、日本とアメリカの共同チームは、脳細胞に必要な栄養を与えておくことで脳細胞の増殖・分裂に成功した。つまり、老化によっておとろえてしまった脳も若返るというわけだ。

そこで、脳に必要な栄養として忘れてはならない成分が核糖核酸(核酸)が主成分の健康食品を摂取したミニタの脳年齢を調べてみたところ、八七・五歳の被験者が若くしたという。その中のひとり、六十二歳の女性に話を聞いた。彼女は、数年前から物忘れがひどくなったという。近に見ていきますから、私生活がなつてしまったらどうしようかと、真剣に悩んでいました。

あなたの脳年齢は何歳ですか?
0120-04-9898
0120-04-9896
脳内核酸
毎月5,500円
HOKIKA 脳内核酸
毎月5,500円